

中学校 2年 国語科

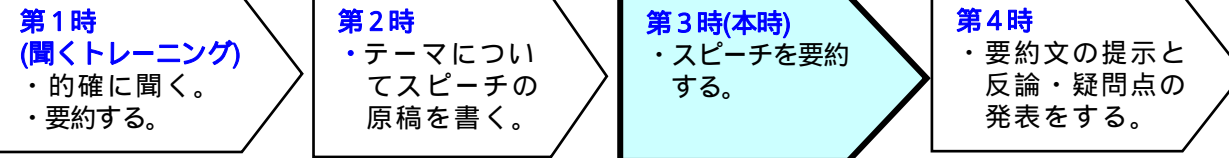
考える × 話す・聞く

育成したい
国語力

自分の考え方や意図の根拠となる理由をもとに筋道を立てて説得力をもって話す。事実と意見、推論や予測、考え方の根拠を区別しながら、内容を吟味し、批判的に聞き取る。

単元名 情報を活用しよう「聞き上手になろう」・吟味して聞こう

単元の流れ

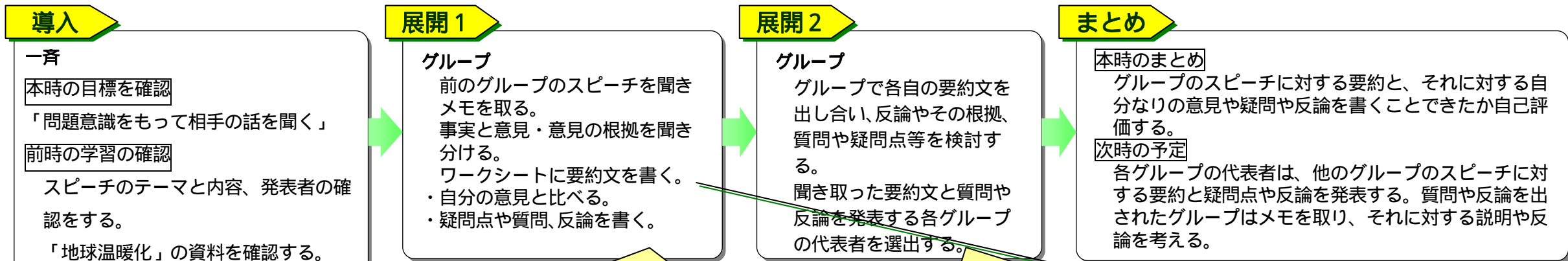


モジュール (聞くトレーニング) 「大切に聞こう」短時間トレーニング

本時の目標

- ・話し手の伝えたい内容を的確に聞き取り、要約する。(聞く能力)
- ・話し手の伝えたい内容を批判的に聞き取り、自分の考えを深める。(聞く能力)

本時の流れ



視点①

自分の考えと比べることによって問題意識をもって相手の意見を聞き取る力を付けます。

視点②

グループで討議することによって、批判的に聞き取ったことをさらに深く考え、自分の意見を深めることができます。

「モジュールで短時間集中して聞く」

「大切に聞こう」

- ・授業のはじまりの短時間、聞くことだけに集中し、自分たちの周りにある音に気付いたり、教師の声、友達の話の大切に聞く。
- ・意識的に聞く大切さを習得する。集中力を高める。

聞くトレーニング

「第1時のトレーニング」

的確に聞く
絵や写真について口頭で説明し、それをよく聞く。説明が終了したら絵を描く。完成したら友達やグループで確認し合う。

要約する
話し手と聞き手を決める。話し手は「今自分が興味をもっていること(例)」について数分間話す。聞き手は話し手の話が途切れないようにいろいろなことを質問して、たくさんのことを聞き出す。
時間が来たら聞き手は話し手の言いたかったことを要約する。

国語力育成の視点

文化審議会答申(平成16年)で示された、「望ましい国語力の具体的な目安」の中の「話を聞き取り、内容を理解する」ことの具体的な目安として、

- ・事実や根拠などに注意しながら、話の内容を正確に聞き取ることができる。
- ・聞いた内容をメモに取ったりして、話の構成や展開を理解できる。
- ・話を分析的・批判的に聞き、自分の意見や考えを組み立てることができる。
- ・場面に応じて最後まで集中して聞くことができる。

などが示されています。

本単元では、聞き上手になるために、相手の話を吟味して批判的に聞き、考える力の育成をめざして、日常的な・継続的にトレーニング的な学習と、話すことと聞くことを組み合わせた実用的なスピーチ場面やグループ討議の場面で学習を設定します。

スピーチテーマ(例)

- ・和食と洋食はどちらが優れているか。
- ・朝食はご飯がいいかパンがいいか。
- ・このようなテーマで各自が考え、グループで深めグループの代表がスピーチを行う。

要約の視点

- ・「誰がどうした」「何をどうするのか」等、主語や述語、目的語等を明確にして話の中心となる話題や要約を要約する。

批判的に聞く視点

- ・意見の部分と事実の部分の混同していないか。
- ・意見や考えに根拠が示されているか。
- ・発言内容が目的や場面に応じているか。
- ・発言の内容に論理的な矛盾はないか。
- ・他者の意見を尊重しようとしているか等。